



ふちゅうこくさいこうりゅう ふちゅう す  
府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動  
をつづ 続けています。

# くろするる〜ど

2020/11月号 第254号

かいほうし  
会報誌



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

## 〜サロン月間カレンダー11月〜

## 「教授法研修Ⅱを終えて」

すでにご案内している新型コロナウイルス感染  
防止の対応策に沿って、10月に引き続き11月も  
学習会を進めていきます。詳しいことはサロン  
事務局で聞いてください。

コロナ禍で3月に中断したままになっていた  
日本語教授法研修Ⅱ(全10回)でしたが、この10月  
に未修3回分(6日・13日・20日)の研修を実施す  
ることができました。

### ■日本語学習会

2学期残りの期間:11月2日(月)~12月18日(金)  
の月(午前・午後)・水(午後)・金(午後・夜)

\*学習の時間は2時間までです

(注:状況を見て、以上の日程は変更または中止  
の可能性あります。)

これまでの研修光景とは異なり、グループ活動も  
なく、講師の山田しげみ先生もフェイスシールドを  
着用されて、講義中心の授業となりましたが、  
受講生の方々のマスクの下からは活発に質問が飛び  
出していました。

今回の研修は、「みんなの日本語初級Ⅱ」の後半に  
ある受身形、様態・伝聞の「~そうだ」、推量の「~  
ようだ」、尊敬語・謙譲語など日常生活の中で身近な  
表現ばかり。敬語表現を含むロールプレイのシナリ  
オ作りのタスクもあり、その作品発表はプロジェク  
ター画面上で行われ、一つ一つに先生からの講評  
がありました。

### ■実行委員会

11月11日(水)午前10時~12時  
場所:サロン3階会議室

昨秋9月から各学習会で活動されている受講生  
の方々は、日本語指導に当たっての問題意識や  
疑問点がより具体的、明確になっており、先生への  
質問も直接に、またメールでも多く寄せられていま  
した。

### ■文化交流活動とその他の企画活動

しばらくの間、お休みします。

なお、「国際ふれあい会~私のふるさとを語る~」  
は、来年3月に実施することになりました。詳し  
いことは、「みんなの広場」をご覧ください。

一旦は中止となり、コロナ感染防止対応でいろい  
ろと制約がある中で再開した教授法研修でしたが、  
今までと変わらぬ熱気あるものとなりました。

(研修部)



せ かい ぶん か  
**世界の文化**

びょうき の こ  
**「病気を乗り越えて」**

ティム ボンテイ (カンボジア)

わたしはカンボジア出身です。カンボジアではホテルのフロントではたらいていたのでおきやくさんと日本語をはなしてベンキョウしました。

おくさんとは4年まえにカンボジアで出会いました。おくさんに会うためにけっこんするまでに3回日本にきました。わたしがはじめて日本へりょこうしたのは3年まえです。うまれてはじめてひこうきにのったのでどきどきしたことをおぼえています。

去年10月にけっこんしてから日本にすんでいます。

日本にきてびょういんににゅういんしました。あしのびょうきです。去年12月にしゅじゅつをしました。たいいんしましたがなかなかおらなくて今年1月にまたしゅじゅつしました。まいにちリハビリをがんばりました。かんごしさんとはなしながら日本語をベンキョウしました。びょういんからみえる富士山がとてもきれいでした。まいにち、ひまでしたがみんなとはなしたり、おくさんもまいにちきしてくれたのでがんばりました。今年9月にたいいんしました。とてもつらかったですが今はあしがよくなってよかったです。今もまい日おうちでリハビリをがんばっています。

わたしのとくいなことはりょうりをつくることです。いつもスーパーマーケットでおいしいやさいをかかって、おうちでりょうりをつくります。じぶんでやさいをそだてることもします。トマト、ナス、レモングラス、バジル、トウガラシ、チンゲンさい、パクチー、ねぎ、などたくさんそだてました。そだてたやさいでごはんをつくっておくさんといっしょにたべます。いつかはカンボジアりょうりのおみせをつくりたいです。



わたし  
**私のふるさと ~26~**

いと ふるさとたいちゅう  
**「愛しい故郷台中」**

ツアイ シンイ たいわん  
蔡 欣怡 (台湾)

わたしの出身地は台湾の中部にあり、台中というところで。冬は台北より暖かいし、夏は高雄より涼しいので、とても住みやすいです。

賑やかなダウンタウンと大自然を堪能できます。幾何学的な曲線の美しさの概念で完成された国家歌劇院と谷関を紹介したいと思います。

こっかかげきいん  
**国家歌劇院**

国家歌劇院は日本の建築家・伊東豊雄が設計して、5年余りもの歳月を費やし、2014年に完成しました。

外観から見るとワインのボトルのようなフォルムがあり「舞台芸術の魅力は美味しい酒のように夢中になります」と伊東さんは「壺中居」と名付けました。

内部はサウンド・ケープ（音の洞窟）というコンセプトで、建物自体の末端を除きほぼ直線はなく、流動的な空間にしています。そして曲面の構造では極めて難度の高い工法で建築され、当時世界で評判が高かったです。

夜になると建物内からさまざまな明るい光が外に漏れ、昼とはまた違う美しさです。

グーグアン  
**谷関**

市中心から聳えた岩壁が続く地形を通り、およそ1時間半かけて山に囲まれた谷関があります。谷関、小さい頃よく日帰りで連れて行ってもらいました。

温泉で有名ですが、現在山登りやキャニオニング（沢下り）にも人気があります。

40メートルの雄大な滝（龍谷瀑布）に逢えるかどうかは当日の水量によります。水量が多すぎると危険なので、キャニオニングもできません。

おんせん さんろく わ だし ゆりょう ほうふ おんせん  
温泉は山麓から湧き出し、湯量が豊富な温泉は  
おんどやく すいそ のうど  
温度約48℃、水素イオン濃度9です。

にほんとうちじだい てんのう ゆ つ あと だんし  
日本統治時代、天皇はこの湯に浸かった後、男子を  
さず 授かったということで、「男子誕生の湯」ともいわ  
れています。

ねん だいじしん じゅうすうねん かんこうきやく あし ほこ  
1999年の大地震により、十数年も観光客が足を運  
ばない厳しい状況になりました。2019年星野の経営  
している高級ホテルを皮切りにして、賑やかな町が  
だんだん戻って、新たな谷関になっています。



こっかかげきいん  
国家歌劇院



こっかかげきいんないぶ  
国家歌劇院内部

しゃしん せかいけんちくめぐ びんよう  
写真は「世界建築巡り <https://architecture-tour.com>」引用

みな

がくしゅうしゃしょうかい

# 皆さんよろしく◇学習者紹介

シャヒーム エラヒさん (アフガニスタン)



## 「たこ焼きが大好きです」

アフガニスタンの北部タハール州の出身です。  
2014年10月来日し、東京農工大学の研究生として  
1年間勉強し、その後の4年間で岐阜大学の獣医  
公衆衛生学の博士号 (PhD) を取得しました。しか  
し、東京農工大と岐阜大学は提携しているので、勉  
強はずっと農工大でしたので、すでに府中に5年  
以上住んでいます。

アフガニスタンではカブール大学で5年間獣医学  
の勉強をして資格を取りました。

来日する前に結婚し、今では5歳と1歳の男の子  
がいます。

東京農工大の授業は英語でしたので、今年の7月  
から週1回サロンに日本語の勉強にきています。

趣味は科学書などを読むことと、旅行することで、  
今までに大阪、京都、北海道に行きました。

日本の食べ物では、たこ焼きが大好きで、お蕎麦も  
好きだそうです。アフガニスタンの料理では、餃子に  
似たものに、トマト、ガーリック、ビーンズとヨー  
グルトをかけて、ミントの葉を飾ったマントという  
料理が好きとのことです。

「好きな日本語は？」という間に、「サクラ」「ム  
ラサキ」などの音の響きが好きだとお答えをもらい  
ましたので、女の子が産まれたら、「サクラ」ちゃ  
んが良いねと話しました。(取材・文構成 堤 林)

# わたし 私の☆つぶやき

にほんご べんきょう  
スカイプで日本語を勉強

クリス ダフィー (オーストラリア)

コロナ禍の日々をどのように過ごしているか、また、これまでの日常と変わってしまったことなどについて、サロンの皆さまからいただいた「つぶやき」を紹介します。

## にほんごのリスニングがじょうたつ！

ローレン カーニー (オーストラリア)

私は、きょねんの3月に日本にきました。しごとはフリーランスのアーティストです。パンデミックで私のたくさんのしごとがキャンセルになりました。でも、あたらしく、えいごクラブで、こどもたちに、えいごをおしえるアルバイトをしています。このけいけんで、わたしのにほんごのリスニングがじょうたつしました。ステイホームのあいだ、私は、絵をかいたり、本をよんだり、にほんごをべんきょうしたり、オンラインでかいものしたり、たべすぎたりしました。

オーストラリアのかぞくは、あんぜんだったので、私はあんしんです。つぎに、かぞくに会うのがたのしみです。日本の人たちはマスクをして、手のしよどくをして、とてもかんがえているので、私はパンデミックのあいだ、日本にいて、とてもラッキーです。



ローレンさん自作のイラスト

私は去年の3月、オーストラリアから日本にきました。仕事は、府中市の中学校で英語の教師をしています。3月から5月まで、コロナで休校でした。時々、家で仕事をしていました。ステイホームの間、最初は家で、たくさん映画を見たり、本を読んだりしました。ゲームをしたり、料理もしましたが、だんだん退屈になりました。サロンが休みの間は、運良く、すばらしい先生とスカイプで日本語クラスを続けることが出来て良かったです。

コロナの前は3月にオーストラリアに旅行に行くつもりでしたが、キャンセルになりました。コロナの後、私は家族に会いたいです。オーストラリアの家族は、安全にすごしているので、うれしいです。パンデミックが終わったら、友達と旅行に出かけて、もっと日本を見たいと思います。

## ひろ せかい オンラインで広がった世界

きんようよる うえだ そのこ  
金曜夜ボランティア 植田 園子

今年はコロナで皆さん、日常が激変した事と思います。感染対策や stay home 期間中の家族の食事の準備など、大変な事もありましたが、stayhomeのおかげで、オンライン化が進み、色々な講座がZoom開催に切り替わり、自宅に居ながらにして遠くでの講座が受講出来る様になった事は画期的でした。この機会を利用して、色々な日本語教育の講座を申込みました。貴重な経験を今後に役立てたいと思います。



# とう こう 投◇稿

## しんがた か おも 「新型コロナ禍に思う」

きんよう ご ご あらき じゆんこ  
金曜午後ボランティア 荒木 順子

### はや お さんもん とく 「早起きは三文の徳」

きんようよる わかさ ゆたか  
金曜夜ボランティア 若狭 裕

「早起きは三文の徳」という諺があります。昔から奈良の地では「鹿は神の使い」として保護されていました。その鹿の死体が偶然に自分の家の前で発見された場合、その家主は罰金として「三文（現在の約100円）」を徴収されるという掟がありました。早起きすれば、もし鹿の死体があっても、気づかれないうちに鹿の死体を片づけて罰金三文を払わなくて済んだことから、「早く起きると得をすることがある」という意味に使われるようになったと言われています。

医学的にも朝は人間の脳が最も活性化する時間帯と言われ、健康にも良いし、活動時間が増え精神的に余裕ができ、それだけ仕事や勉強がはかどったりするので「得」をすることになるわけです。記憶力が向上する、美容・健康に良い、ダイエットにつながるなど、いろいろな「得」があるとされています。

私は毎朝5時に家を出て近くの野川公園周辺を約1時間50分散歩するのを日課としています。10月の朝5時はまだ暗いですが、夜明け前の東の空にひとときわ明るく輝いている金星（明けの明星）を見ながら歩き、まわりの景色がだんだん明るくなってくを見るのはなんとも言えないすがすがしさがあります。約7km 12,000歩、一汗かいて7時ころ帰宅して朝食をとる毎日です。健康維持につながっていて三文以上の「得」になっていると思っています。

ちなみに英語にも同じ意味の次の様なことわざがあります。The early bird gets the worm.

みな けんこう のために早起きしましょう。

テレビのスイッチを入れる。「今日の感染者は〇〇名」とニュースが流れる。すっかり当たり前のこととなってしまう。

右を見ても左を見てもマスク、マスク。顔の半分が隠れて表情が判りにくいののは困ったものだ。

今朝の広報誌にも「マスク、手洗い、ソーシャルディスタンス、食事での会話は控え目に」とある。

先日、半年ぶりに植物観察の仲間と歩きに行き、さて昼食をとるお店に入ったところ、各々のテーブルがアクリル板で囲まれている。仲間の感想「なんだか檻の中で食べているみたいだ」と。

健康診断を受けに行った時も、受付にはもちろんビニールのカーテン。検査が終わり診察室に入って「あれ！！」医師と私の間にも長いビニールカーテンが下がっている。一瞬、どうやって診察するのかなど不思議に思っていたところ、カーテンの隙間から聴診器がニューと出てきた。

いろいろなところで、会話、コミュニケーションがとりにくくなっている。その大切さも今まで以上に実感させられる。

友達のひとは、「脳退化防止に数独と漢字パズル。おしゃべりの機会が少なくなり、口の周りの筋肉が固くなってきた。」と苦笑い。

コミュニケーションの基本は、おしゃべり、会話。ご馳走を美味しく味わえるのは、楽しい会話があつてこそ美味しさが増すのでは？

マスク無しの笑顔で会話ができる日が戻ってくることを願っています。



## 「オンライン学習しています」

月・水・金・午後ボランティア おがわ 秀樹

新型コロナウイルスの拡がりであらゆる社会活動が制限されています。9月からサロンの日本語学習支援活動も制限付きで再開しましたが、コロナ以前のようにはいきません。

休会中の5月初めに、月午後の Nguyen Van Doan 君からの「オンラインで学習したい、できませんか」との電話で急遽オンライン学習を始めました。私はノートPCで、彼はスマートフォンで、ソフトはSkypeを使っています。月曜と金曜の午後に各90分ほどの学習時間です。

オンライン学習では実対面と異なり、会話の間の取り方や表情の捉え方など戸惑いがあります。またリアルタイムとは言え、テキストを読む分には支障なくとも、例文作りや代入練習などでは、画面を通してのヘルプに円滑さが保てない場合があります。実対面では、例えば手元のボードにメモ書きしながら説明しますが、画面を通しての説明では見づらいことも有り理解しにくい場合もあります。

さらにインターネット接続環境の設定によっては音声途切れたり、画面が一時的にフリーズしたりと学習内容が飛んでしまうこともあります。

学習面以外でも気をつける点は、発光画面を見続けることで目の疲れや一時的な視力低下があります。私は約90分の半分ほどで一休みを入れ、椅子から立ち上がって背伸びをしたりしています。

ざっと不都合な面を述べましたが、お互いにマスク無しでの表情を見ながらの会話は、なによりの親近感と安心感があります。Doan君もコロナ禍が落ち着くまではオンライン学習を続けたいようなので、暫くは続けるつもりです。

## ことばの由来

## 「コロナ禍での修行」

日本語には多くの同音異義語があります。今年の2月頃から現在に至るまで毎日耳にしている「コロナ禍」の禍と災い、前者は人為的な努力によって防ぐ事ができる(わざわい)を表し、後者は防ぎようのない天災などを表します。

また心法と辛抱、前者は仏教の教えで自分の心の器を大きくする、練り鍛える修行の事で、後者の、辛さをこらえ耐え忍ぶ辛抱の語源とも言われています。

そう考えると「コロナ禍での辛抱」は、人々の努力で感染拡大を防ぎつつ互いに心を鍛える修行をしている事になります。

そのように解釈し私たちは現況を乗り越えた時には修行を終え、お互いに寛容な心で接する事ができるようになっていると思うと、とても前向きな気持ちになれますね。

修行が一刻も早く終わられるように日々の修練を積み重ねて行きましょう。(編集部 里村)



# ひろ ば みんなの広場

## 「東京外大との連携プロジェクト 代表メンバーのお知らせ」

東京外国語大学 内藤ゼミ (以下外大) との連携プロジェクトのサロン側の代表メンバーを紹介します。

### サロン代表メンバー

月曜午前部会	鳥居	明久さん
金曜午後部会	藤平	洋子さん
金曜午後部会	吉江	美幸さん
金曜夜間部会	植田	園子さん
金曜夜間部会	仙波	昂さん
水曜午後部会	末田	圭治 (外大との連絡員)

## 「防災訓練の実施日時の情報」

今年も各学習部会ごとに以下の日程で防災訓練を実施しました。

月曜午前部会	10月26日(月) 午前11時～12時
月曜午後部会	10月26日(月) 午後3時半～4時
水曜午後部会	10月14日(水) 午後3時～(机上)
金曜午後部会	10月2日(金) 午後3時～4時
金曜夜間部会	10月30日(金) 午後8時～9時

## 「『わたしのふるさとを語る』発表者募集」

毎年、学習者が自分のふるさとの魅力を紹介する～国際ふれあい会～「わたしのふるさとを語る」を、下記の要領で開催することになりました。

日時：2021年3月6日(土) 午後2時半～4時

会場：サロン3階学習室

発表者：学習者2名

発表時間：15分～20分(パワーポイント使用可)

発表内容の例：\*ふるさとの話

\*文化や母語の紹介 など

定員：未定 (追って事務局で告知)

★発表参加の応募締め切りは11月末日です。詳しいことは事務局でお聞きください。(企画部)



## 訂正とお詫び

10月号の「みんなの広場」の「新会計担当が決まりました」の記事中、井原博美さんの担当期間を「1年半ほど」と記載しましたが、正しくは「ほぼ2年半」です。訂正してお詫びします。(編集部)

## へんしゅうこうき ～編集後記～

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言われています。どんなに暑くても、9月のお彼岸（9月20日頃）まで。どんなに寒くても3月のお彼岸（3月20日頃）までと言われていました。

今年の夏は異常に暑く、新型コロナウイルス禍の下、外出も控え目で、家でエアコンをかけて過ごしていました。いつになったら涼しくなるのだろうと思っていたら、やはりお彼岸の頃から暑さはおさまりました。

今度は急に季節を越した寒さがあり、風邪を引くと新型コロナウイルスと間違えられると思い、体調管理に気を使いました。

例年10月はエアコンが休んでいることが多いのですが、今年は、暖房として使っていて、ガスヒーターも早々に活躍しています。

みなさま、体調管理に気をつけてくださいね！

(堤林)



【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘  
会報部会：堤林・和田・岩城・末田・  
里村

【事務局】 電話：042-352-4178  
E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp  
サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>